

キリストの架け橋

発行責任者：宝田 豊 yutakara@gmail.com

対外伝道ニュースレター

2017年10-12月 Vol.18

～新たな出発～

これまで4年お手伝いしてきた徳山バプテスト教会ですが、この度、これまで借用してきた建物を出て、徳山の市内にある周南文化会館の一室を借りて日曜礼拝を守ることになりました。徳山の教会は、教会員が2名で他教会員一名と私を加えても、礼拝出席は通常4名です。多い時には10名くらいになることもありましたが、この度、教会員の一人がご主人の転勤で、他県に引っ越すことになり、経済的に月7万円の賃貸を払って継続することが難しくなったためです。

教会員一人では、教会運営はできませんが、母教会である今治バプテスト教会が、残った一人の会員を支えて、徳山伝道所を継続することを決められたので、私も、これまで同様、徳山にいる時には、礼拝での宣教を通して、奉仕していくことにしました。

ただ、文化会館は、年末年始などは閉館となり、借りることが出来ない日曜日もあります。そうした日には、教会員の方の家での家庭礼拝という形で守ることになりました。

12月の第一日曜日、わたしはテキサスにいました。教会員の男性は今治教会との合同礼拝のため四国の今治に行かれ不在でした。そこで、残った教会員（現在は引っ越し準備中）は、他教会員の方の家で家庭礼拝を持つことになりました。二人だけの礼拝でしたが、普段は、教会に来て中に入れないこの家のご主人が、そばでメッセージを聞いておられたそうです。12月31日の日曜日は、文化会館の閉館日で、教会員の家で礼拝を持ちました。彼のお母さんは、PL教団の会員ですが、これを機会に、キリスト教のお話に耳を傾けるようになってくれれば、と祈っています。

今回の歩みを、後退と考えるのではなく、別のかたちで神の恵みが注がれようとしていると考える時、普段、福音を聞くことのないご家族に間接的であっても、宣教の機会が与えられようとしているわけで、大きな恵みと感謝します。ここにも、人間の思いを超えて働かれる、神様のご計画があったと確信出来るのです。

実は、教会堂を持たないようになったことがきっかけで、わたしは、借りているアパートの大家さんの奥さんとお話をする機会がありました。彼女は、当然、わたしが教会から謝礼を頂いて日本での生活をしていると考えていたようで、決まった収入のないことを話すと、理解できないようでした。それは当然のことです。そこで、わたしは、神様がこのような不可能な状況を、可能にしていることをお話しすることが出来ました。ここにも、今回のことによる、神の恵みを感じることができます。

人生には、わたしたちに理解できない出来事がたくさんあります。聖書でも、マリヤの処女降誕など、人間の常識では理解できないことがあります。しかし、天地を造られた神なら、出来ないことなどないと確信できます。この神の力を信じる時、先の見えない現実であっても、喜びをもって、期待の内に宣教の歩みを続けていくことが出来るのです。

**わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、
わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。**

**天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、
わが想いは、あなたがたの思いよりも高い イザヤ書 55章8-9節**



どうということもないススキですが、向こうから光が当たると、美しく輝きます。
このようにキリストの光に照り出されて、世の中に神の栄光を輝かして歩むのがクリスチャンであり、神の教会です。

徳山バプテスト教会

連絡先: tokuyamabc@gmail.com

12月より近くの周南市文化会館の一室を借りて、日曜礼拝を守っています。

祈りのリクエスト

- + 徳山バプテスト教会の必要経費の備え
- + 教会員の霊的成長と魂の救い
- + 地域の人々に福音が浸透するように
- + 被災地伝道
- + 宣教活動経費が備えられるよう
- + テキサス州内伝道拠点を覚えて
【ダラス、アビリーン、コーパスコープ、サンアントニオ、ヒューストン】
- + 御国バイブルフェロシッブ（ヒューストン）の上原牧師の働きと教会の成長
- + ガーディナートーランスバプテスト日本語教会（ロサンゼルス）の成長と牧師が与えられるように

主な行事予定(2018年01-03月)

01月14日 ロサンゼルスでの協力伝道開始（毎月一回）

03月02-05日 室蘭キリスト教会

03月20-22日 全米南部バプテスト日本語教会連盟牧師会 於：ロス

03月26-27日 テキサス州連盟の他民族伝道評議員会議

中四国連合牧師研修会

10月、中四国連合の牧師会研修会が開催されました。今回の主題は、「今思うこと～それぞれの牧会の中で」でした。主題に沿って、三人の方が発表されました。



どの教会も礼拝出席の減少と高齢化の問題を抱えて悪戦苦闘している様子が伺えました。多分、この問題は、日本のどの地域でも同じように苦悩している課題ではないかと思いました。



会場は広島県呉市にある小さな島にある県民の浜というキャンプ場のコテージを利用して開催されました。周りには、美しい景色が広がり、ベランダから外を眺めると、そこには

緑豊かな島を囲むように、青い海が広がっていました。

第63回定期総会

11月には、日本バプテスト連盟の定期総会が天城山荘で開催されました。今回は、連盟結成70年目にあたる節目の年でもありました。戦後、日本バプテスト連盟創立総会が16の教会の参加のもと行われてから、今年で70年を迎えました。

今日の日を迎えるに至った長い宣教の道を覚える時、アメリカの南部バプテスト連盟の兄弟姉妹の祈りと経済的支援、それに宣教師たちの献身的な働きがあったことを忘れてはならないでしょう。



今回の総会では、群馬の太田キリスト教会と福岡的那珂川キリスト教会が、新たに連盟に加盟、日本バプテスト連盟は、287教会、36伝道所になりました。加盟教会がある反面、毎年のようにどこかで閉鎖される教会・伝道所があるのも事実であります。

日本バプテスト連盟が、これからも神の守りと祝福の中に更なる成長を望むなら、バプテストとして、聖書の教えに忠実に従う群れ、祈りの生活を深め、聖霊の導きの中、宣教の業に励んでいく群れとなるのが欠かせないと強く思われています。

2017年を振り返り、今年も一年を無事に終えることが出来、感謝します。飛行機代に関しては、支援によってすべてが賄われました。生活費については、出来るところで節約に努めていきたいと思えます。

今年も、神様の守りと皆様のご支援に対して、心から感謝申し上げます。また、皆様の上に神様の祝福をお祈りしています。

支援金は、下記住所までご送金をお願いいたします。

Japanese Baptist Church of North Texas
For Takarada Fund
6040 Alpha Rd. Dallas, Texas 75240

横浜大和町キリスト教会

今年も、横浜にある大和町キリスト教会の礼拝での宣教奉仕をさせていただきました。商店街の真ん中に位置する教会は、たくさんの方が通り過ぎていきます。先生の話では、通行人の方が時々足を止めて中に入ってきてくださる、とのことでした。

今回は、ひとつ嬉しいことがありました。昨年の礼拝でこの商店街にある花屋のご主人が、礼拝に初めて出席くださったのですが、その方が、それ以来、毎週の礼拝に出席するようになったことです。そのご主人は、今年も、また、礼拝に出席下さり、わたしに笑顔で挨拶してくださいました。今回は、奥様が礼拝堂に特別な花を飾って下さいました。



来年の礼拝では、この方がクリスチャンとして教会の活動にかかわっていただけるようにと祈っています。

矢野満牧師召天

千葉教会の牧師をされてきた矢野満先生が天に凱旋していかれました。わたしは、前夜式に出席しましたが、会堂には、入りきれないほどの人がおられました。

先生と私は、共に東京の志村教会出身、学生時代からの付き合いでした。大学は、共に明治学院を卒業、卒業後は、奥様を含め、いつも兄弟のようなお付き合いをさせて頂きました。

式の中で、奥様が先生が亡くなる前に、自分の葬儀で賛美する讃美歌や聖書箇所などを伝えられたとおっしゃっていました。先生は、神の元へ帰る準備が出来ていたのでしょうか。確かな信仰の証を聞かせて頂いたと、神に感謝しました。

神の言をあなたがたに語った指導者たちのことを、いつも、思い起こしなさい。彼らの生活の最後を見て、その信仰にならなさい。ヘブル13章7節

新たな宣教協力 ～ロサンゼルス～

2018年1月より、ロサンゼルスにあるガーディナートーランス日本語バプテスト教会で月一度、宣教奉仕をすることになりました。お祈りお願い致します。

先日、普段立ち寄るセブンイレブンの店長が、わたしの仕事について尋ねて下さったので、牧師であることを伝えました。彼も、いつか教会に出席下されば、と祈るものです



経費内訳 2017年10月～12月 (¥112/\$)

2017年9月までの収支	-8,888.61
入金 (10-12月)	
支援金総額	10,304.78
経費 (10-12月)	
国際線+日本の国内線	6,097.20
日本の経費合計 (治療費含む)	3,102.56
徳山バプテスト教会支援金	625
経費合計 (10-12月)	9,824.75
収支合計 (10-12月)	480.03

次期への繰越金 -8,408.58